

2021年 第19号

優楽広報誌

春 号

ともに

優楽の同

『同（ともに）』

みなさんと同じ方向に向かって協働していくという思いを込めて



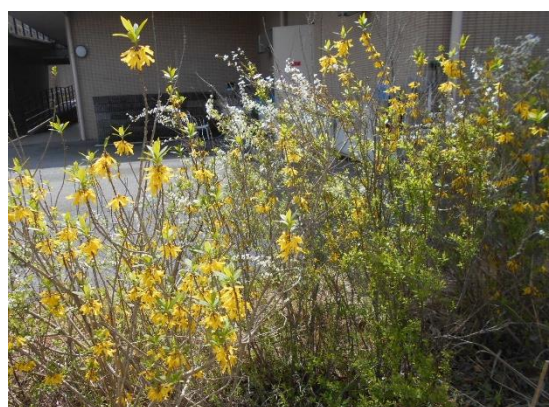
デイケア（通所）

デイケアでは、
感染予防対策をおこないながら
活動をしてきました。

みなさんにも手洗い、マスクの
着用をお願いや検温のご協力を
していただきました。
はじめは不自由に感じておられたと
思いますが、感染拡大予防に
協力していただいていることに
感謝しております。

いろいろな制限のある中、
コロナに負けない身体作りを目指して
リハビリ、集団体操にも
取り組んでまいりました。
レクリエーションや季節の行事も、
例年とは違う形にはなりましたが、
みなさんのご理解を頂き
実施することができました。

手づかみオツケー！の
パン食い競争も、盛り上がりました。
今年度も、みなさんの健康と安全を
第一に、職員一層努力してまいります。



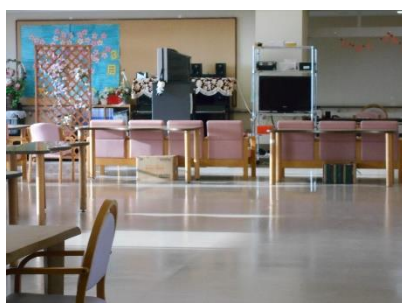
入所棟（看護・介護）

窓を開けたら、
春の空気が舞い込んでくるような
心躍る季節になりました。

3月は、年度が終わる時期でもあり、
別れの気持ちと春めいた気持ちとが
混ざって毎年複雑な気持ちになります。

老健という性質上、出会いがあれば
ご自宅に帰られる等の別れもあります。
短い出会いの中にもお一人お一人に
エピソードがありお名前を聞くだけで、
それが蘇ってくるものです。

なかでも「いつもありがとう」
「傍にいてくれて心強いよ」と
言って下さると、心の励みになり、
こちらこそありがとうございますと
言いたくなります。

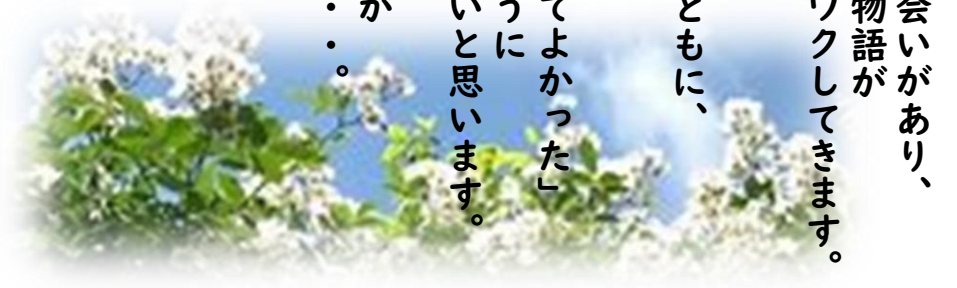


これから新しい出会いがあり、
その一つ一つに大切な物語が
生まれると思うとワクワクしてきます。

今まで出会った方に
感謝の気持ちを送るとともに、
これから

「ありがとう、
あなたに出会えてよかった」
と言っていただけのように
日々関わっていきたいと思います。

我が家の庭の野ばらが
咲くことを楽しみに・・・。



リハビリテーション室

リハビリテーション室は、介護老人保健施設の中でも奈良県下最大級の面積で室内空間は、開放感抜群です！

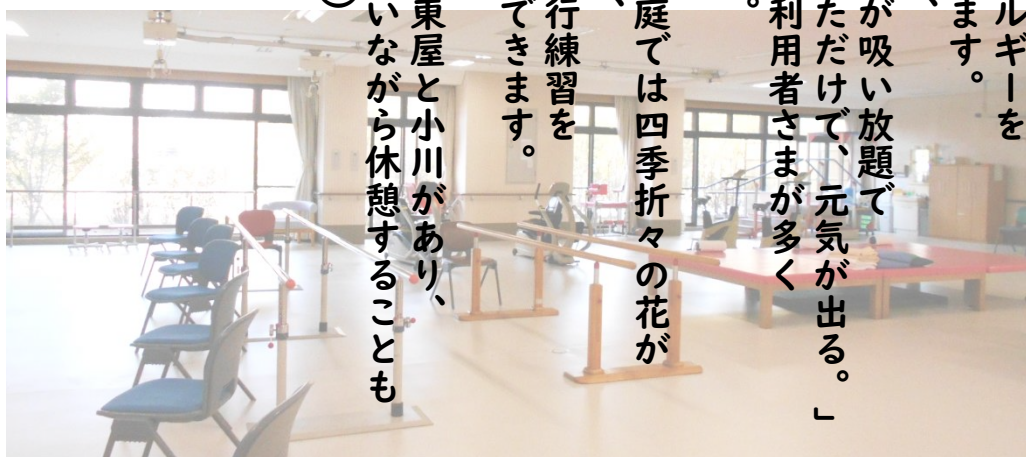


大きい窓から望む木々や草花は、生きるエネルギーを与えてくれます。

新鮮な空気が吸い放題で「ここにただで、元氣が出る。」と言われる利用者さまが多くおられます。

施設の中庭では四季折々の花が咲いており、その中で歩行練習をすることもできます。

(途中には東屋と小川があり、風流を味わいながら休憩することもできます。)



理学療法士・作業療法士・言語聴覚士

現在、常勤・非常勤の理学療法士・作業療法士・言語聴覚士合わせて10名のスタッフ（言語聴覚士は3名）が在籍しています！

立ちにくい・歩きにくい利用者さまには理学療法士が、個々の利用者さまの生活が困難な人には作業療法士が、話しにくい・飲みにくい利用者さまには言語聴覚士が、それぞれの状態に合わせてプログラムを組みます。

在宅復帰、生活支援を方針にそれぞれの利用者さまに対して具体的なリハビリを丁寧に進めていきます。

是非、リハビリテーション室を覗きにきていただき、その広さと環境の良さ、スタッフのリハビリの様子を体感し感じていただければと思います。

栄養課

新しい生活を迎える春、皆さまもいろいろな思いを胸にお過ごしのことと思います。

新一年生が街を歩いている姿などを目にとると、希望と不安のどちらの気持ちも感じとれます。

例年、私自身は大きく何かが

かわることなく、普段と変わらない春を迎えているのですが、

昨年は

新しい出会いの機会が多く、不安な気持ちを抱えてのスタートとなりました。

今までの当たり前は、

私を支えてくれた仲間のお陰であったことを改めて感じ、仲間との絆の大切さや思いやりのありがたさを痛感しています。

そんな素敵な仲間と出会えたことや、今も私のそばで支えてくれている家族や仲間感謝し、新しい生活をみなさんとともに楽しんでいきたいと思っています。



職員のつぶやき



介護福祉士

松原 猛

私は入社した時から利用者さまが「笑顔」で施設生活を送っていただけることをモットーにネイル、風景写真、最近ではプロジェクターを使い映画鑑賞会などを企画して、喜んでいただいております。

介護福祉士も、日々スキルアップが、必要と考えているので、ゼネラリスト、広範囲に、様々な知識、技術、スキルを有している人になりたい！

必要な能力、スキル、コミュニケーション能力を養い、広い視野を持ち、行動力によって、色々な利用者さまの要望に応えることが出来ると思っております。

また介護士だけでなく、他職種連携が必要であると考え、今後も頑張っております。よろしく願います。

疾病、傷害などにより介護が必要になったときでも、住み慣れた家庭・地域で自立した生活を営むことが出来るよう支援させていただく施設です。医学的管理の下、ケアプランにもとづいてリハビリテーション、看護、介護などを行い、家庭介護の支援や家庭復帰を目指します。

◆利用できる対象者

介護保険の要介護認定において要支援以上の要介護状態と認定された方で、病状が安定していて介護が必要な方と、40歳以上64歳までの特定疾患（例えば脳血管疾患、糖尿病性神経障害などの疾患が定められています）によって介護が必要な方やリハビリが可能な方。

◆施設サービスの内容

●入所

日常生活動作をしやすくするために、その方の状況に応じたケアプランに沿って、専門スタッフによるレクリエーション、食事、入浴、排泄など日常生活サービスとリハビリテーションなどの医療ケアサービスをご利用いただき、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援します。

※介護老人保健施設とは※

●短期入所

ご家族の介護疲れや病気・用事などにより、ご家庭での介護が一時的にできなくなったとき入所と同じサービスをご利用いただけます。また、体力や生活機能向上のためのリハビリテーションやレクリエーション活動への参加の促進により、ご家族の介護負担の軽減が図れるよう支援します。

●通所リハビリテーション（長時間）

理学療法士や作業療法士、言語聴覚士が評価を行い、心身機能維持向上目的のリハビリテーションプログラムを作成し、必要に応じ個別リハビリテーションも行っています。食事・排泄・入浴・レクリエーションも提供します。

●パワーリハビリテーション（短時間）

負担の軽いマシン運動で、心身の活性化を図ります。また、専門職の生活指導と合わせトータル的な介護予防を目指します。

ご相談、ご利用申し込みは当施設担当者までご連絡ください。

生駒市介護老人保健施設 やすらぎの杜 優楽

TEL / 0743-76-3300

<http://www.ikoma-yuraku.com/>

ご利用相談受付担当：藤尾 中溝（入所・ショート） 田中 藤林（通所）



●編集後記●私たちの生活は「選択」や「決断」の連続です。思うような選択肢を選ぶことができないことも少なくありません。なんで、あのときこの道を選んだのだろうと思うこともあるかもしれません。でも、そこには素晴らしい出会いと学びがあると信じています。「これでよかった」と思える瞬間を積み重ねていきたいものです。

